

大腸がん検診啓発に関する活動情報をお届けします

日頃より、当法人事業にあたたかいご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
広報ブレイブサークル 04号をお届けします。

なかなか上がらない大腸がん検診の受診率… 市民を「動かす」仕掛けをつくり、 検診受診者数が大幅に増加！（大阪市）

大腸がん検診をはじめ、がん検診の受診率向上に関する課題は、多くの自治体が試行錯誤しながら取り組んでいらっしゃると思います。

今号は、今年度、大腸がん検診向上に向けてモデル事業に取り組まれている大阪市健康局健康推進部健康づくり課のご担当者様に、その事業内容についてご紹介いただきました。

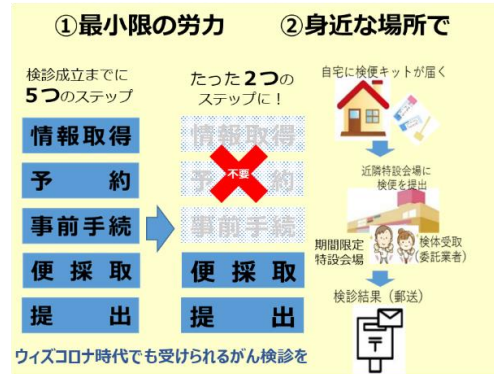
目標800人の2倍を超える1,605人(42%)が提出！

大阪市では、がん検診の受診率向上に向け、はがきや冊子の市民向け送付や、行政広報誌による情報発信、企業連携によるイベントなど様々な取組みを行っているが、効果が弱いことが課題である。特に、大腸がん検診については、大阪市が実施するがん検診のなかで最低の受診率で目標の50%にかなり遠い状況である。新型コロナウイルスの感染拡大により、受診者数がさらに減少し、現状と目標との乖離を埋めるためには、これまでとは違うアプローチが必要と考え検討を重ねた。これまでの対策は「自分で予約する行動を前提とした勧奨」になっていることに着目、「受診する(動く)のを待つ」のではなく、「動かす」「動いてしまう」仕掛けをコンセプトに、令和3年度にモデル事業を開始した。

その概要だが、一定条件下(①過去に大腸がん検診以外を含む本市検診の受診歴がある50歳～64歳、かつ②令和2年度大腸がん検診未受診)で抽出した市民3,816人を対象とし、予告ハガキの送付後、勧奨資材とともに検便キットを発送した。対象者は届いた検便キットを使って検体採取し、「特設会場」の開催日時に予約不要で採取済キットを提出できることとした。特設会場は大型商業施設や区役所といった市民が分かりやすい場所とし、9月末～11月初旬に37日間設置した。また「動かす」「動いてしまう」仕掛けについては、行動経済学(ナッジ)を専門とする企業と連携し、資材のメッセージ構成や

複数回の勧奨設計の支援を受けた。結果、目標800人の2倍を超える1,605人(42%)が特設会場へキットを提出された。

検査キットを個人あてに郵送・受診予約も不要に



印象深いのは、検便キット送付から数日後に採取済キットを本市に郵送され困惑したケースや、初日に目標の4分の1である220人が提出されたこと、大腸がん検診が初めての人が多かったことである。次年度も今回の「動いてしまう」仕掛けを展開する地域を増やしていくことを検討している。

ブレイブサークル様には、資材のイラストデータ提供にはじまり、問診票、検診結果説明用紙等、全ての資材作成に多大なご支援を賜り、担当者一同、心よりお礼を申し上げます。

大阪市健康局健康推進部健康づくり課(成人保健G)

当法人としても、今回モデル事業とその期間における啓発についてご協力させていただき、地域の実情に応じた資材利用について貴重なご意見をいただきました。受診勧奨や啓発資材のさらなる改善を検討していきたいと思っております。

(事務局編集員)

9月1日は「大腸がん検診の日」 都営線に啓発ポスターを掲出しました

2019年9月に当法人が日本記念日協会へ申請・認定された「大腸がん検診の日」の企画として、2021年9月1日から1か月間、都営大江戸線の車内に啓発ポスターを掲出しました。当法人の小冊子(2種)の内容を元に、ポップなカラーが目を引き、つつい読みたくなるようなポスターを作成しました。

新型コロナウイルスの影響で、がん検診の受診を控える人が多く、がん発見の遅れが懸念されるという報道をよく目にする事から、当法人ではこの状況下でも検診を続けてほしいと願い、特に働く世代の方々に呼びかけたい思いから通勤時によく目にする電車のドア横スペースの掲出を実施しました。



大江戸線車内掲出の様子

Tokyo健康ウォーク2021を開催しました

11月14日(日)から11月23日(火・祝)の期間、東京都八王子市にて「Tokyo健康ウォーク2021」を開催しました。

東京都と当法人が共催し「運動習慣が大腸がん予防に有効である」という考え方にに基づき、大腸がん検診を広く都民に呼びかけるものです。今年には新型コロナウイルス感染拡大防止策をとり、指定のスマートフォンアプリを使用し、期間内に所定のコースを自由に歩行する新たな形式で実施しました。京王線南大沢駅を起点とする7kmのコースに同伴者を含め約1,130名の方が申し込まれウォーキングに参加、専用のアプリに表示されたコースを、紅葉を愛でながら歩きました。

また、40歳以上の参加者を対象とした無料大腸がん検診は、開催初日に回収日を設け、約330名が申し込まれ検体を提出しました。

ウォーキング後は、Web上で解ける大腸がんに関するクイズに挑戦し、楽しみながら大腸がんの現状や検診の大切さについて理解を深めました。



密を避けて紅葉の中をウォーキング

2022年度版の小冊子、ポスター 2月より配布始まっています

昨年末に都道府県経由で各市区町村にご案内した2022年度版の小冊子、ポスターを2月より発送を開始しています。

小冊子は、大腸がんの現状や大腸がん検診について簡潔に説明している「全般用」と、大腸内視鏡検査など大腸がんの精密検査を説明する「精密検査用」の2種を提供しています。

「全般用」では、新たに「がん予防」にフォーカスをあてた内容や、国が推奨するがん検診に関する一覧を入れ込んでいます。「精密検査用」では、大腸内視鏡検査経験者の感想を増やし、精密検査受診を前向きに考えてもらえるようにしました。

ポスターは大腸がんに関する例年のキーワードに新たに「適度な運動は予防効果あり」と新型コロナの感染拡大が続いている中でも、検診の継続を呼びかけるメッセージを加え、色味は2色、サイズはA2判とA3判で提供をします。

直接市民の方々へ啓発する機会がない状況はしばらく続くと思いますが、当法人資材を検診案内に同封するなど、検診啓発にご活用いただけると幸いです。

小冊子

ポスター



(左)全般用小冊子
(右)精密検査用小冊子

事務局より

いまだ新型コロナウイルスは、各所に影響を与え続けている状況であり、がん検診啓発の活動に暗い影を落としています。2022年も、密や接触を極力なくし、可能な限りがん検診の大切さをひとりでも多くの市民の方に伝えるため、当法人も資材開発やイベントなどを続けてまいりたいと思います。



広報「ブレイブサークル」04号
2022年2月発行

NPO法人ブレイブサークル運営委員会 事務局
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-22-37 ストーク西新宿303
TEL:03-6908-9160 FAX:03-6908-9150
メール:info@bravecircle.net Webサイト:http://bravecircle.net